

ラベルバンク新聞

発行所
株式会社ラベルバンク
大阪市淀川区西中島 5-12-8
新大阪ローズビル 4F
TEL: 06-6838-7090
FAX: 06-6838-7091
http://label-bank.co.jp/
support@label-bank.co.jp

第63号

平成25年6月に「食品表示法」が公布され、昨年11月から「食品表示基準」の内容について検討が行われています。その中間報告が3月28日にされましたので、一部動向をご紹介します。

1 表示責任を有する者について

現行、加工食品については、JAS法では、商品内容を把握しているとして、「表示内容に責任を有する者」の住所と氏名、食品衛生法では、食品衛生上の問題が発生した際に迅速に対応するため、衛生上のリスクが生じる製造や加工を行なう者の氏名と住所を記載していました。

食品表示基準においても、その必要性に変わりはなく、「表示内容に責任を有する者」の氏名及び住所を記載することとしています。しかしながら、商品の様々な流通実態（NB商品など）に対応することと、表示の内容に責任を持つものを明らかにするため、今後、流通形態によって

新しい食品表示基準の動向について

は、製造業者や販売業者とは限らず、「当該食品の内容を最も把握しているもの」を表示責任者として「製造者」「販売者」「加工者」「輸入者」として記載することになるようです。

よって、販売者が表示責任者となった場合、製造者は商品の表示は行ないませんが、食品の内容を最も把握するものではないので、「販売者」と記載します。そして、実際に製造した場所を「製造所」として記載が必要となります。

「製造者」「加工者」「輸入者」「製造所」「加工所」「輸入所の営業所在地」等の用語について整理されていますが、「製造」「加工」について改めて定義づけられる見通しです。

その一方で、製造所固有記号の記載で製造所の所在地などを表示に代えることができる制度については表示可能面積の制約等もありますが、更に審議される見通しです。



2 食品表示基準における加工食品の表示方法等の作成方針について

現行、加工食品は「名称、原材料名・添加物・アレルギー、内容量、消費期限又は賞味期限、保存方法、原産国名（輸入品）、製造者、原料原産地名、遺伝子組換え食品」を記載。さらに個別の品質表示基準で義務表示事項となっているものを記載してきました。

食品表示基準でも、ほぼ変わりはないが、「名称、アレルギー、保存の方法、消費期限又は賞味期限、原材料名、添加物、栄養成分の量及び熱量、原産国名（輸入品）、内容量、食品関連事業者の氏名又は名称及び住所、原料原産地名、遺伝子組換え食品等」を記載します。栄養成分の量及び熱量の記載が増え、前述で記載した食品関連事業者の記載が変更となる見通しですが、記載項目はほとんど変わりません。

個別の品質表示基準での義務表示事項については、消費者の選択の際に有用な表示であることから、そのまま採用となります。

しかしながら、名称の定義は、現状と実態があっていないものもあるため、一部修正、削除が行なわれる予定です。また、表示禁止事項も基準を検索しやすくするため、改めて、品目ごと、もしくは表示事項ごとに整理され、一覧化される見通しです。

3 食品表示基準における販売形態ごとの適用範囲について

現行、「JAS法」では容器包装の有無や製造・生産場所と販売場所の違いから、「食品衛生法」では、一部では容器包装の有無から表示の必要性が決められていました。

食品表示基準では、販売形態によって、適用範囲が決められる模様ですが、今までの「JAS法」、「食品衛生法」両方の法律を守らなければならなかったことが合わせられて、ほぼ現行と変わりはないように思われます。

更に今年の夏までにこちらについても検討が行なわれます。

- ・レイアウト、文字の大きさの検討
- ・アレルギー表示（代替表記等の見直し、表示方法（個別表示、一括表示など）の整理）
- ・加工食品関係の用語の統一

総括として、思っていたほどの変更はなく、よりわかりやすいものになっていくのだろうと感じています。しかしながら、定義が少しずつ変わっている部分もあるので、一つずつ変更ポイントをおさえて従事していく必要があると、まだ案の段階ですが実感しています。

～卒業から旅立ち～ スタッフからのご挨拶

3月いっぱいまでアルバイトスタッフの阪口がラベルバンクから旅立つことになりました。今春、社会人として新たな一歩を踏み出す阪口よりみなさまへ、ごあいさつをさせていただきます。

いつもお世話になっております。以前「インドレポート」や「はじめての化学コラム」を書かせていただきました阪口です。

ラベルバンクでの勤務も3月末で締めくくりとなりますので、この場を借りて皆様にご挨拶をさせていただきます。

私が初めてラベルバンクを訪れたのは、2009年4月のことでした。

自分自身、将来どんなことがやりたいのかよくわからず、実際に企業で働くことで見えてくるものもあるだろうと考えて、インターシップに応募したのです。その面接中に、弊社社長の川合から、「今の若い人たちは、よくがんばっているんじゃないか」と声をかけていただいたことが、今でも忘れられません。

最近「ゆとり世代」ならぬ「さとり世代」という言葉もあるようです。大それた夢を持たず、欲もなく、「さとうたように」生きている、ということだと思います。私は、そんなふうこそここで生きていくことには満足できない、と思っています。かと言って、やりたいたことが明確にあったわけでもありませんでした。その狭間で悶々としていたところに、「よくやっているよ」と



※インドレポートより



という言葉が刺さったのです。

私は、人と2人でお酒を飲みながら話す「さし飲み」が好きで、これまでたくさんの方と飲み、話をしてきました。彼らの多くは、「自分の幸せってなんだろう」と悩んでいました。たとえ大きな夢を持たない「さとり世代」であっても、自分にとっての小さな幸せは手に入れたと思うものです。

おもしろいことに、私がインドで話した同世代の現地の若者はみな、「お金を稼ぐことが自分の人生の幸せだ」と言い切っていました。「自分の幸せってなんだろう」とつい考えてしまうのは、お金やモノがありあまってしまっている、現代の日本の若者特有の現象なのかもしれません。

「きみたちはよくやっている」という言葉は、そんなふう迷っている私たち若者を、ふっと楽にしてくれるものだと思います。

とはいえ、一人で悩んでいるだけでは、わからないこともあります。ラベルバンクで働くなかで、自分の未熟さを痛感する場面はたくさんありました。

仕事のことよりも、礼儀や常識といった人間的なことの方が多かったかもしれません。「学生はよくやっているかもしれないけど、社会人から見ればまだだ」ですね。

働くという事は、お客様あつてのもの。自分一人ではできないものです。学校の勉強のように「自分一人を考える」ことが当たり前である学生にとって、「誰かのために行動する」ことを学ぶ事が、社会に出るための第一歩であるように思います。願わくば、悩むだけでなく行動に移す。その経験からはじめて見えてきたものを大切に。そんなふう考える学生が増えてくれたらいいなと思います。

これからは私もいよいよ社会人として世の中に出て行くことになりましたが、ラベルバンクで学んだように、支えてくれる周りの方々への感謝を忘れずに、一所懸命やっていく所存です。

いつかどこかで、私や、あるいは私のような若者を見かけた際には、「よくやっているけど、きみはまだまだだよ」と、温かく叱咤激励していただけたら幸いです。

これまで、本当にありがとうございました。それでは、またお会いする時まで。

(阪口 創)



今月の「お気に入り」言葉

壁は自分自身だ。

(岡本太郎)